

平成  
22年度

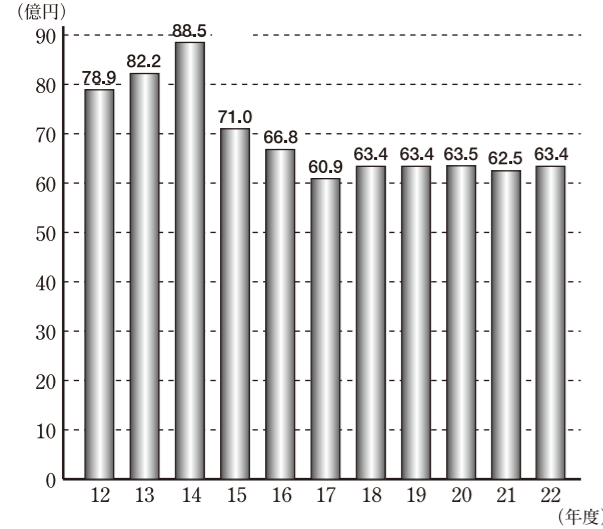
# 町の予算をお知らせします

## 未来への投資と経済立て直しを意識した一般会計当初予算 63億3,700万円の内訳

●問い合わせ先●  
役場企画財政課財政係  
☎482-2913(課直通)

弟子屈町のまちづくりの基本となる平成22年度当初予算が、3月9日から12日まで開催された3月定例町議会で成立しました。  
平成22年度の一般会計の予算総額は63億3,700万円で、前年度から9,200万円の増となっています。これは、中学校建設などと道の駅整備に係る設計委託費や用地購入費、公営住宅建設事業、子ども手当の増額があり、公債費の減額があったものの、予算額全体では増額となりました。町独自の事業としては、新規雇用支援事業や地場農産物の普及のための地域ブランド推進事業、寒冷地畑作農業振興事業、摩周湖環境保全対策事業、観光事業活性化補助など、少金額ながらいろいろな事業を予算化しています。  
6特別会計予算と1企業会計予算(表③)を含めた総予算額は90億6,382万5,000円で前年度対比で0.6%(5,678万2,000円)の増額となり、昨年度とほぼ同じ規模となっています。

一般会計当初予算額の推移

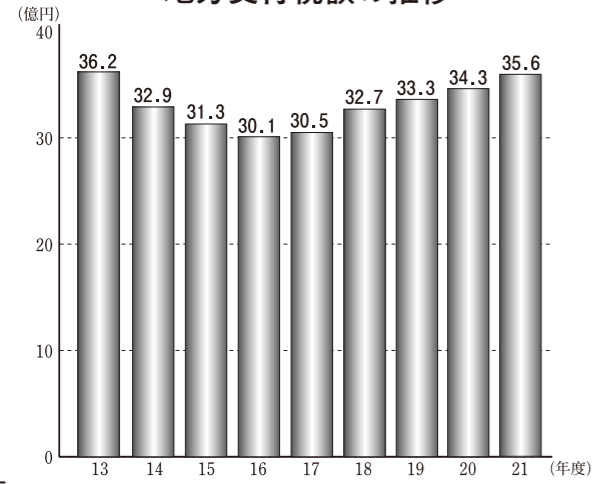


特別・企業会計予算(表③) (単位:千円)

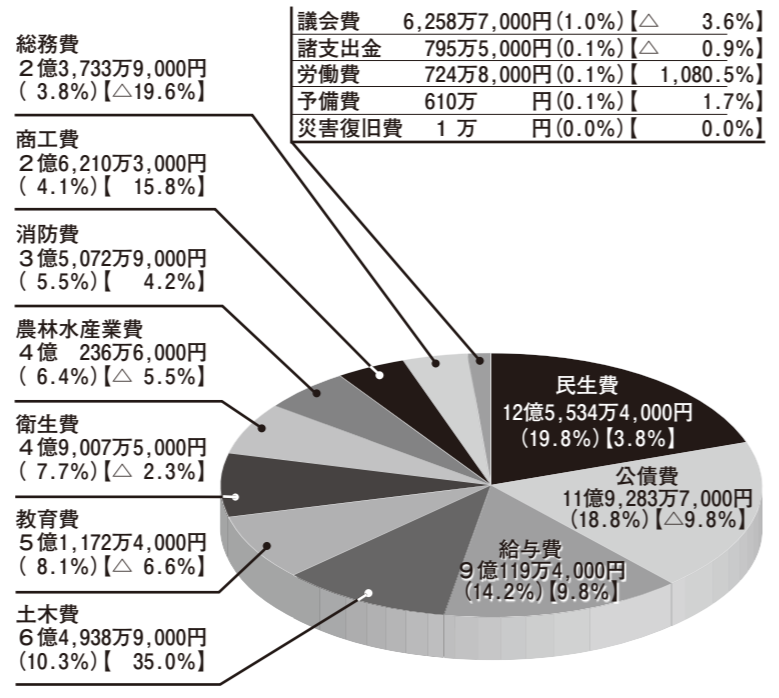
会計名	予算額	増減額	増減率(%)
国民健康保険	1,110,268	15,877	1.5
老人保健	220	△ 1,174	△84.2
介護保険	667,062	61,047	10.1
後期高齢者医療	89,075	4,034	4.7
温泉事業	56,320	34	0.1
下水道事業	540,997	△110,236	△16.9
水道事業(企業)	262,883	△ 4,800	△ 1.8
合計	2,726,825	△ 35,218	△ 1.3

※増減額と増減率は前年度予算額との比較です。

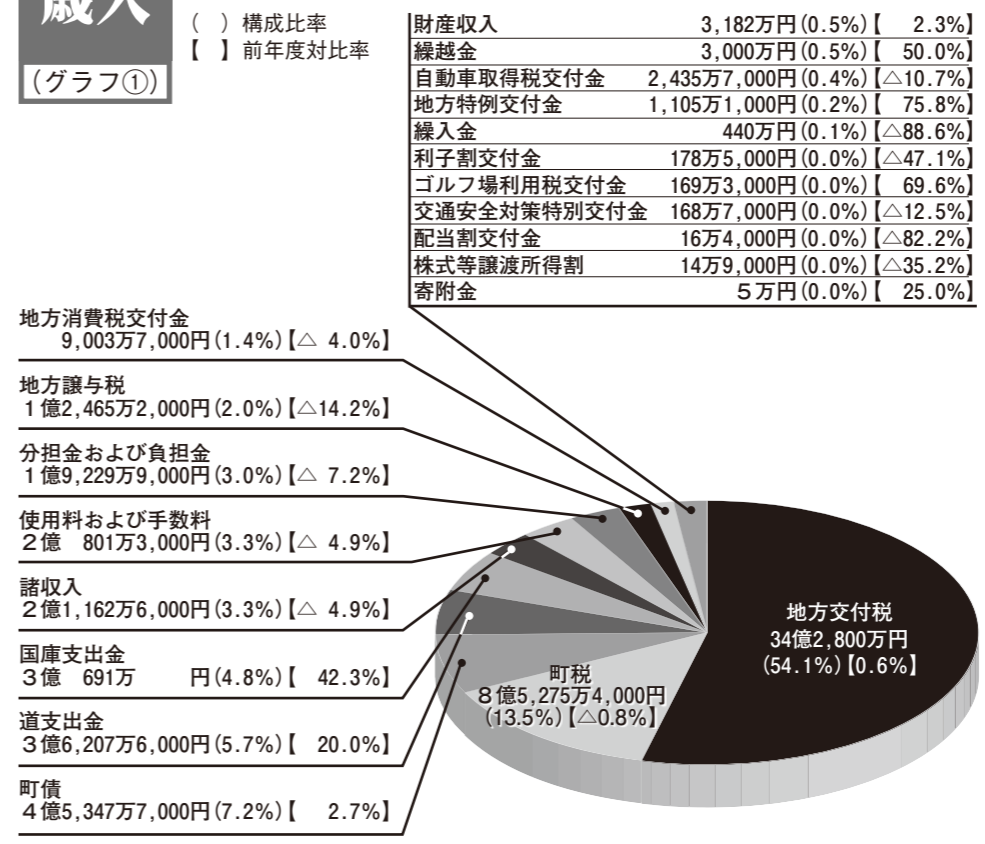
地方交付税額の推移



### 63億3,700万円 歳出 (グラフ②)



### 63億3,700万円 歳入 (グラフ①)



**歳入** 今年度の一般会計当初予算の概要を説明します。まず歳入(グラフ①)ですが、自主財源の柱である町税は、前年度より703万円減額の8億5千275万4千円を見込んでいます。これは、観光客減少による入湯税の減や喫煙者減少によるたばこ税の減などによるものです。歳入予算全体の54.1%を占める

地方交付税国から交付される資金は、34億2千800万円と前年度より2千万円の増額を見込んでいますが、政権交代などの影響で不透明な状況です。町の借金といえる町債は、4億5千347万7千円と前年度より1千196万8千円の増額となりました。これは、実質交付税と呼ばれている臨時財政対策債と公営住宅建設事業、中学校等建設事

今年度の歳出予算も、財源不足が見込まれることから昨年度と同様に徹底した見直しを行い、旅費・消耗品費・光熱水費などの経常経費の削減や、特別職給与15%削減、人事院勧告に基づく期末勤奨手当削減など、人件費の削減を行っています。

特別・企業会計の合計は、国民健康保険で保険給付費の増加、介護保険でも後期高齢者医療広域連合納付金の増加に伴い増額となりました。老人保健は後期高齢者医療制度への移行、下水道事業では普通建設事業の減少、水道事業では建設改良費の減少に伴い減額となりました。温泉事業については前年度とほぼ同額となりました。前年度対比では3千521万8千円減となる27億2千682万5千円となっています。

続いて、道路や施設などの整備のために借り入れた起債(借金)償還金(返済金)の費用である公債費の11億9千283万7千円、前年度と比べて1億2千920万3千円の減となっています。これは、昨年度実施した補償金免除繰上償還が終了したことによるものです。

以降、給与費、土木費、教育費、衛生費、農林水産業費、消防費などの順となっています。

**歳出** 次は予算の使い道である歳出(グラフ②)ですが、構成比率が最も高いのは、民生費の12億5千534万4千円で全体の19.8%を占めていて、前年度より4千651万5千円の増額となっています。これは、子ども手当と自立支援給付費の増加によるものです。民生費とは、各種福祉サービス事業や福祉施設の維持管理、子育てに関する費用を支出する科目です。

景気低迷による町税の減収、不透明な地方交付税、底をついた基金と、歳入の確保に苦慮する状況が続きます。

業や道の駅整備事業のための起債が増加するためです。このうち、臨時財政対策債については交付税と同等の扱いのため、町の借金が減るものではありません。貯金といえる基金からの取り崩し(繰入金)は440万円を計上していますが、今後、中学校建設のために基金取り崩しが見込まれることから、町の貯金は依然として底をついていく状態となっています。



# 第35回児童生徒 読書感想文コンクール

児童生徒読書感想文コンクールに、多くの優秀な作品が寄せられました。  
先月に引き続き、最優秀作品を紹介します。

このお話は、圭、祐也、水穂の三人が少年少女探偵トリオを結成して活やくする話です。どんな活やくかというところ、三人は古城を目指し、そのお城の中で少女を見つけ、千代川先生と警察と一緒に古城にいた少女を悪魔から助けるという活やくです。

このお城には昔から悪魔が少女をさらって騎士が助けたという伝説がありました。三人は、校外研修に行った時に、この伝説と同じようなお城を見つけたのです。このお城は「妖奇城」といいます。私は三人が伝説と同じ妖奇城を見つけた時、本当にこのお城であるんだな、と思いました。城は不気味な感じがしている中、中に入った三人は勇気があふれると思いましたが、山の中に古城を見つけても絶対に入りません。ゆうれいがいるかもしれないからです。私は夜のトイレもちょっとこわくてトイレを出たあとは、ダッシュで部屋に戻



■小学校5年生の部 最優秀賞  
妖奇城の秘密  
和琴小学校 野下 ちはるさん

私がこの本を選んだ理由はお母さんにすすめられたからです。私のお母さんは本が好き

るほどです。私が残った場面のまず一つ目は、城の中に少女がつかまっているのを発見した所です。伝説と同じような少女が本にいてびっくりしました。

二つ目は、悪魔が少女を連れ去ってしまった場面です。悪魔が来て、少女を連れ去ってしまったけれど、私たちはなにもできませんでした。なぜかというところ、悪魔がとてつもなく強かったからです。私もきつと何もできません。こわいに決まっています。

三つ目は、悪魔をつかまえる場面です。悪魔をやつとつかまえたなら、ほんにんは、あの千代川先生だったのでしょげました。

さらわれた少女は、塔中ミユウとい、歌手でした。その子がはなやかにコンサートを開くのが千代川先生は許せなかつたのです。ずっと一緒にいた千代川先生が悪魔の正体、つまりさらった犯人だと知った時、私はショックでした。「先生」が犯人ということとは、またちもショックだったと思います。もし私の担任の先生がゆづかい犯だとしたら、悲しくて悲しくて、そして悔しい気持ちになると思います。うら切られたような気がするからです。

どうして千代川先生は、はなやかなミユウが許せなかつたのでしょうか？私はいこう考えます。千代川先生は、昔歌手を夢みていたそうです。でも会社の社長がお金もうけに走り、そのせいでコンサートが中止になったのです。このことから、千代川先生は夢がやぶられてしまったので、その会社の社長をつらみ、さらに

そのほかの最優秀作品については、来月以降順次紹介していきます。  
※児童の学年は、コンクールが行われた平成21年度当時のものです。



(寸評) 感想や疑問を持って本を読み、考えをしっかりとめることができました。感想文の書き方の手法としても参考になります。

## ■妊婦健診業務

483万3,000円

妊娠全期を通じて、健診に係る費用を14回分助成します。

【財源内訳】	
諸収入	189万2,000円
一般財源(町の負担)	294万1,000円



## ■環境にやさしい交通実証運行事業(ソフト)

851万9,000円

環境にやさしく、生活交通と観光交通が一体となった地域交通体系の構築のため、摩周駅、川湯温泉駅、川湯温泉街、屈斜路を結ぶ観光交通実証運行を実施します。

【財源内訳】	
道支出金	187万7,000円
環境基金	300万円
一般財源(町の負担)	343万9,000円
諸収入ほか	20万3,000円



## ■寒冷地畑作農業振興事業

500万円

冷湿害でダメージを受けた畑作農業への支援として、寒冷地に強い品種導入などをJ A・生産者とともに実施し、費用の一部を畑作振興会へ助成します。

【財源内訳】	
一般財源(町の負担)	500万円



## ■まちづくり交付金事業

6,797万5,000円

弟子屈中学校屋内体育館・校舎解体・道の駅トイレ設計・耐震改修工事設計や、事業に伴う用地の先行取得を行います。

【財源内訳】	
国庫支出金	2,420万円
地方債(借金)	4,310万円
一般財源(町の負担)	67万5,000円

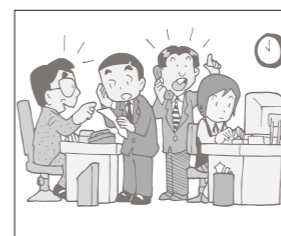


## ■新規創業等雇用支援事業

360万円

景気低迷による雇用の減少に歯止めをかけるため、新規創業または新業種に進出し、新規雇用を行う事業者について、雇用人数1人当たりにつき月額3万円を上限に1年間補助します。

【財源内訳】	
一般財源(町の負担)	360万円



# 今年度の 主な仕事

厳しい財政状況の中でも、今何が本当に必要な事業かを見定め、各種産業基盤の整備や産業振興への取り組み、また、誰もが安心して暮らせる生活・保健・医療基盤の整備や教育施策の充実など未来につながる投資にも取り組み、主なソフト事業として約9,698万円、またハード事業として約5億8,814万円を計上しています。



## ■住宅用火災報知器購入費助成事業(ソフト)

100万円

高齢者・ひとり親・障がい者世帯に対し、火災警報器義務設置2個分購入費の2/3を助成します。

【財源内訳】	
一般財源(町の負担)	100万円



## ■観光事業活性化補助金(ソフト)

600万円

町内宿泊施設に宿泊する町民の方に対して、1人当たり2,000円の助成を行います。

【財源内訳】	
一般財源(町の負担)	600万円



## ■観光地づくりアドバイザー事業(ソフト)

270万円

観光協会・商工会・旅館組合と連携し、観光地づくりに有効な講演会などを実施します。

【財源内訳】	
一般財源(町の負担)	270万円

